

第4回 滋賀県総合教育会議の結果について

文教・警察常任委員会資料
平成27年9月9日(水)
教育委員会事務局教育総務課

会議次第

平成27年9月4日(金)

17:30~19:30

県庁北新館5-A会議室

1. 本県における学ぶ力向上施策について

(全国学力・学習状況調査結果を踏まえて、学ぶ力向上施策の検証等について)

2. 次年度以降重点的に講ずべき施策について

(高校教育改革関連、教員の人材確保・育成など)

主な意見等

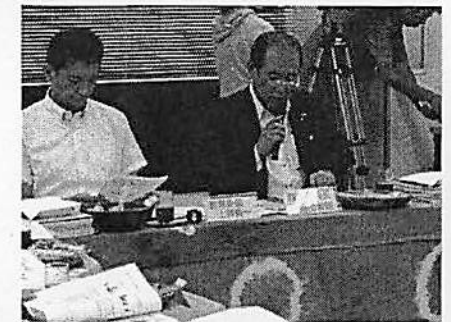
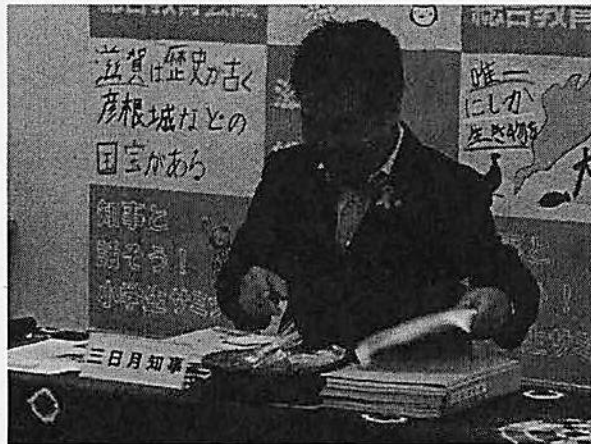
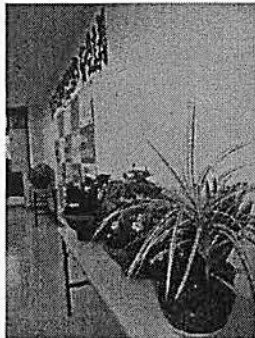
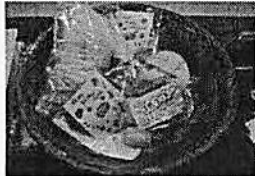
《1. 本県における学ぶ力向上施策について》

事務局から学力調査結果の分析や、顕著な改善が見られた県や市町の取組例等を紹介するとともに、昨年度から実施してきた施策についての検証などを報告。

- ・個々の子どもに目を向けること、土日や放課後の使い方、わからない子どもへの対応、めあてと振り返りの徹底等の授業改善、読書の推進といったことをさらに検討していくことが大切。
- ・調査結果からは改善傾向が見られることや、全国平均との差も狭い範囲に各県が集中していること等から、「学ぶ力向上 滋賀プラン」に基づき、継続して粘り強く取り組むことが大切。
- ・改善傾向が表れており、現場の教員を信じて、さらに現場と目標を共有することが大切。
- ・今の子どもたちや若い教員にとって、ICTの活用などが有効ではないか。
- ・小学校段階でつまづいている子や読むことに難しさを感じる子もおり、個々に合わせた課題設定が必要である。

《2. 次年度以降重点的に講ずべき施策について》

- ・グローバル社会で必要な能力は、知識だけでなく、アイデンティティがより重要。「国際人としての日本人」となるためには、人間力の育成に力を入れる必要がある。
- ・今は「何を教えるか」ではなく「何が身についたか」が重要。教員の「学ぶ力」を伸ばし、若い教員を上手く導いていけるよう取り組んでいく必要がある。
- ・ふれあい教育対談で2年目の教員と対談したが、熱心に研修していた。その若いパワーを生かすも殺すも職場の仲間や環境であり、力を活かせるようなチームとしての組織づくりが大切。
- ・普通科進学校だけを念頭に置いた変革にならないよう、滋賀の高校生の現状を踏まえ、滋賀らしさや特徴ある教育を目指してもらいたい。



会議には、県立の特別支援学校から、生徒たちが手作りしたパンやマドレーヌ、お花やテーブルクロス等をご提供いただき、会場に展示するとともに、各校の取り組みを紹介しました。

また、会議の題字も野洲養護学校の連山昂太(つれやま こうた)さんに書いていただきました。